

「がん進展制御研究所セミナー」を開催

2012年7月9日

7月9日(月)にがん進展制御研究所棟 4階会議室において、金沢大学医薬保健研究域 薬学系 後藤(中川) 亨子 准教授を迎え、「植物成分誘導体による選択的な抗多剤耐性がん戦略」と題して、がん進展制御研究所セミナーを開催しました。

セミナーでは、抗がん剤に対して耐性を示すがん細胞に対する、有機合成化学からの新たなアプローチについて、ご講演頂きました。

セミナーには、所内外の研究者並びに大学院生ら約50名が参加し、活発な質疑応答や意見交換が行われました。



がん進展制御研究所 セミナー

日時：2012年7月9日(月)午後5時

場所：がん進展制御研究所・会議室（4階）

演者：後藤（中川） 享子 博士
（医薬保健研究域薬学系・准教授）

演題名：

植物成分誘導体による選択的な抗多剤耐性がん戦略

後藤博士は、本学の薬学部を卒業、薬学部助手として勤務された後に、1998年から本年3月まで米国ノースカロライナ大学にて、天然物を基盤とした抗がん作用・抗 HIV 作用を示す化合物の合成開発研究に従事されてきました。本年4月に医薬保健研究域薬学系の准教授として着任され、独立した研究グループを主宰しています。

今回は、政策課題対応型課題のセミナーの一環として、天然物、なかでもフラボノイド誘導体による抗がん剤開発に関する、博士の研究に関して、基本的なところから最近の研究成果まで含めて紹介していただく予定です。

司会： 向田 直史（分子生体応答）